

令和5年度 福中・福高同窓会女子部会 紅梅会役員会

次 第

進行（幹事長 中嶋ますみ）

- 1 開会の辞
- 2 紅梅会会長挨拶（会長 林田 スマ）
- 3 福岡高校近況（同窓会事務局長 中富 加代子）
- 4 議長選任
- 5 議事
 - ① 令和4年度活動報告及び令和5年度活動予定（幹事長 中嶋ますみ）
 - ② 令和4年度決算ならびに監査報告（会計 柳瀬 恵子）
（監査 國松 康子）
 - ③ 令和5年度予算案（会計 柳瀬 恵子）
 - ④ 紅梅会執行部人事（幹事長 中嶋ますみ）
- 6 議長退任
- 7 報告
 - ① 紅梅会講演会、図書寄贈（副会長 井原 絹江）
 - ② 朝ぼらけ（副会長 福田 美穂）
 - ③ 福中・福高同窓会奨学財団（副幹事長 金丸 あゆ子）
 - ④ 今後の紅梅会活動（会長 林田 スマ）
- 8 第54回紅梅会総会案内（当番幹事 58回生）
- 9 自己紹介 学年代表、執行部
- 10 その他お知らせ
- 11 閉会の辞

令和4年度活動報告及び令和5年度活動予定

・令和4年度活動報告

4月23日(土)	令和4年度 紅梅会役員会
5月26日(木)	執行部会
6月12日(日)	福中・福高同窓会総会 紅梅会総会 (第53回紅梅会総会) 福岡高校記念講堂にて
6月29日(水)	執行部会
8月5日(金)	執行部会
8月29日(月)	執行部会
9月22日(木)	執行部会
10月18日(火)	執行部会
11月15日(火)	執行部会
11月21日(月)	紅梅会講演会の案内を福中・福高同窓会ホームページ 紅梅会のページに掲載
12月15日(木)	執行部会
12月21日(水)	紅梅会講演会「見えてますか?もうすぐの未来」 福岡高校記念講堂にて
令和5年1月~2月	紅梅会寄贈図書選定
3月27日(月)	執行部会
3月	図書館へ図書寄贈

・令和5年度活動予定

4月10日(月)	執行部会
5月22日(月)	執行部会
6月11日(日)	福中・福高同窓会総会にて紅梅会総会告知
7月8日(土)	当番幹事 高58回との打合せ、執行部会
7月17日(月)	執行部会 (オンライン)
8月26日(土)	令和5年度 紅梅会役員会
11月19日(日)	第54回紅梅会総会 福岡高校記念講堂にて

令和5年度 福中・福高同窓会女子部会（紅梅会）執行部会(案)

		福中・福高同窓会の役職
会長	林田 スマ（高18）	副会長
副会長	井原 絹江（高21）	
	福田 美穂（高31）	
幹事長	中嶋ますみ（高38）	
副幹事長	金丸あゆ子（高44）	育英支援委員長
会計	柳瀬 恵子（高36）	総務副委員長
幹事	長田 慶子（高19）	
	中富加代子（高32）	事務局長
	本松 智子（高47）	
	藤野 真実（高50）	
監査	國松 康子（高29）	
顧問	大島 久江（高5）	
相談役	野口美由紀（高19）	

◆紅梅会寄贈図書

番号	書名	著者	出版社
1	18歳から100歳までの日本の未来を考える17のキーワード	樋口裕一	学研プラス
2	言葉の花束 困難を乗り越えるための“自分育て”	サヘル・ローズ/著	講談社
3	こども労働法	山下敏雅、笠置裕亮	日本法令
4	大人になるってどういうこと？みんなで考えよう18歳成人	神内聡/著	くもん出版
5	声をあげて、世界を変えよう！よりよい未来のためのU30の言葉	アドーラ・スヴィタク	DU BOOKS
6	難民に希望の光を 真の国際人緒方貞子の生き方	中村恵	平凡社
7	小説 土佐堀川 広岡浅子の生涯	古川智映子	潮出版社
8	ジャーナリスト 与謝野晶子	松村由利子	短歌研究社
9	だから私はここにいる 世界を変えた女性たちのスピーチ	アンナ・ラッセル	フィルムアート社
10	津田梅子 科学への道、大学の夢	古川 安	東京大学出版社
11	エリザベス・ブラックウェル 世界で初めての女性医師	大谷智子監修	KADOKAWA
12	さばの缶づめ、宇宙へいく 鯖街道を宇宙へつなげた高校生たち	小林康之、林公代	イースト・プレス
13	ヒトゴトにしない社会へ ほどよくつながれば、もっと生きやすい	アノニマ・スタジオ	KTC中央出版
14	父子で考えた「自分の道」の見つけ方	野口絵子、野口健	誠文堂新光社
15	現代世界の女性リーダーたち	石井真太郎編著	ミネルヴァ書房
16	WeAct vol.3 男性特権について話そう		Sakumag
17	君たちが生き延びるために 一高校生との22の対話	天童荒太	筑摩書房
18	君は君の人生の主演になれ	鳥羽和久	筑摩書房
19	奇跡の社会科学 現代の問題を解決しうる名著の知恵	中野剛志	PHP研究所
20	話し合いの作法 「対話と決断」で成果を生む	中原淳	PHP研究所
21	今日拾った言葉たち	武田砂鉄	暮らしの手帖社
22	フィンランド 幸せのメソッド	堀内 都喜子	集英社
23	真醒のネットワーク	上田紀行	KTC中央出版
24	複雑化の教育論	内田樹/著	東洋館出版社
25	千年の読書 人生を変える本との出会い	三砂慶明	誠文堂新光社
26	すべてには時がある 旧約聖書「コヘレトの言葉」をめぐる対話	若松英輔・小友聡	NHK出版
27	「本当の自分」が分かる心理学	シュテファニー シュタール	大和書房
28	夜の木		タムラ堂
29	生きるはたらくつくる	皆川明	つるとはな
30	女を書けない文豪（オトコ）たち イタリア人が偏愛する日本近現代文学	イザベラ・ディオニシオ	KADOKAWA

◆紅梅会講演会

紅梅会講演会のご案内

見えてますか？もうすぐの未来

先輩から聞いて、学んで、考えて、明日をデザインしませんか！

「これからどう生きるか」
「どのような職業に向かうか」…
高校時代誰もが迷ったり悩んだりするものです。
私は、ある先輩からの一言にグッと心が動いたことを覚えています。
皆さんに近い先輩たちの活躍や体験談の中に、
きらりと光る“未来へのヒント”を発見できるかもしれません。
トーク形式で質問を交えながら、楽しくのびのびと、
自分探しの時間をともに過ごしましょう。

紅梅会会長 林田スマ

開催日 令和4年12月21日(水)

時間 13:30～15:00 (開場 13:00～)

会場 福岡高等学校記念講堂
※スリッパをご持参ください

第1部：トークセッション
第2部：質問コーナー

講演者プロフィール

<p>境野 智高さん (高校 45 回) 新聞社勤務。 取材・編集記者を経て 2019年9月から展覧会や コンクールを企画・開催する 事業部で勤務。 博物館の特別展は 「一生に一度しか見られない お宝を見せたい」という 思いで取り組んでいる。</p> <p>～メッセージ～ いつの時代も困難はありますが、 向き合って進んでも らえたらと願っています。</p>	<p>阿部 紗希さん (高校 54 回) 消防士。 消防局勤務。 救急隊員、火災予防査察員 等を経験し、現在は災害救 急指令センターで119番 通報を受信している。</p> <p>～メッセージ～ 小学生2児の母。趣味は アウトドア。 仕事もプライベートも 「今を楽しむ」 がモットーです。</p>	<p>田中 由美さん (高校 63 回) 弁護士。 法律事務所勤務。 顧問会社からの相談への対 応や、交通事故、建築関係 の紛争、離婚事件、刑事事 件などを担当。</p> <p>～メッセージ～ 進路を決めた経緯や悩んだ こと等、様々なことを皆様 とお話できればと思ってお ります。 よろしくお願いたします。</p>
--	---	--

※在校生向けの講演会ですが、**同窓生の方もご参加いただけます！**

【お申込み方法】
「講演会参加希望」と明記の上、**卒業回、お名前、連絡先** を記載いただき、
Fax または E-mail にてお申込み下さい。
Fax : 092-641-7258
E-mail : kobaikai.fhs@gmail.com

【申込み締切り】 12月15日(木) 必着
【問合せ先】 092-651-4265 (福岡高校 担当：中富)

参加者：127名 (アンケート回収人数)

在校生	106名
同窓生	12名
保護者	4名
教職員	3名
未回答	2名



★紅梅会だより

愛媛から優しい「ただいま」

紅梅会
だより

④
甲斐朋香
(高41回)



3つの輪をかたどったシトラス(柑橘類)カラーのリボンを「安心の目印」として掲げ、「ただいま」「おかげで」「いいあえらまら」を目標しませんか?—そんなことを呼びかけ

ける「シトラスリボンプロジェクト」を、2020年4月、私が住む愛媛の仲間とともに始めました。シトラスリボンは「運動のシンボル」「地方発」のプロジェクトらしく、愛媛の特産物である柑橘の色をシンボルカラーとし、また、「3つの輪は「地域」「家庭」「職場または学校」の象徴です。共感していただける方には思い思いのやり方でこのリボンを身につけて

「シトラスリボン」は「運動のシンボル」「地方発」のプロジェクトらしく、愛媛の特産物である柑橘の色をシンボルカラーとし、また、「3つの輪は「地域」「家庭」「職場または学校」の象徴です。共感していただける方には思い思いのやり方でこのリボン

たり、玄関などに掲示した「プロジェクト」はコロナ禍の「根絶」には力及ばないものの、「サイレント・マジョリティー」の気持ちを代弁し、感染の不安を抱える方々に「味方がいる」という安心感とつながりを感じてほしい。活動への参加を通じて、孤立しがたっていた方が社会との接点を見いだしたり、地域内外に新たなつながりが生まれ、といった「副次効果」も見られました。

「プロジェクトのロゴをあしらった商品制作を通じて寄付をするなどより直接的なつながりを感じてほしい」という思いで、地域貢献をして下さった企業もあります。福島の友人たちがこの活動を自ら企画、折々に声をかけてくれたことは、大きな励みでした。新聞記者である旧友との電話取材も全都道府県からの「共感者」は2000超。質問して下さる市町村も目を醒まし、法務省の白書なども言及、「シトラスリボン」

「ロロ」を称し、積極的に活動して下さるグループも各地で生まれています。

プロジェクトはコロナ禍連年別の「根絶」には力及ばないものの、「サイレント・マジョリティー」の気持ちを代弁し、感染の不安を抱える方々に「味方がいる」という安心感とつながりを感じてほしい。活動への参加を通じて、孤立しがたっていた方が社会との接点を見いだしたり、地域内外に新たなつながりが生まれ、といった「副次効果」も見られました。

★紅梅会講演会

紅梅会が講演会

進路の参考に消防士ら招く



紅梅会は2018年に50周年を迎えました。紅梅会会員や在校生の皆さんが自分の可能性を發揮し、自分らしく生き生きと輝ける(まっ、後押しできる)とは、なかなか話し合いました。2021年度には、性別にかかわらず、誰もが生きやすい社会の実現に向けて、参考になる書籍や女性の生き方を考える書籍を選定し、福高図書館に推薦する事業を始めました。

そして、2022年12月21日、在校生が先輩方の体験談から、自分の将来について考える機会となることを願って、「見えてますか? もうすぐの未来、先輩から聞いてみませんか?」と題し、明日をデザインしませんか!というテーマで、紅梅会講演会を開催しました。

講演会には、新聞社勤務の境野智高さん(高45回)、消防士の阿部紗希さん(高46回)、弁護士の中田由美さん(高63回)を迎え、林田スマ紅梅会会長による進行で、130人を超える在校生、同窓生等が参加しました。

講演に先立ち、三宅校長が「人の行動のスイッチが入るきっかけは、人それぞれであるが、多くの人のきっかけは、人の生き様に触れた時である。同じ学び舎で高校生活を送ったOBOGの話や、今回の機会を有意義な時間にしてほしい」と挨拶しました。

第一部のトークセッションでは、講演者が仕事の内容や高校時代の様子、現在の職業を選んだきっかけ等について話しました。第二部の質問コーナーでは、在校生から様々な視点からの質問がたくさん出されました。

第一部、第二部を通して、境野さんからは「日々の様々なニュース等でも、自分にとり関心があるだろうかと自分に引き寄せようとするのが大事」という話や、「在学中に記憶に残っている言葉は?」という質問に対し「人生はらせん階段みたいなものだ」という松本龍先輩(高22回)の言葉を紹介し、「一歩一歩、歩みを進めていけば、たどり着ける場所はあります。自分がかかっている壁、メッセージが贈られました。」

阿部さんからは「高校生の時に目の前のことを楽しんでいくことが、今でも自分の中に刻まれている。不安に思うこともたくさんあると思うが、今ある環境をとにかく楽しんで、やりたいことを一生懸命やってみよう」と話しました。

田中さんからは「高校生の時に模擬裁判の選手権に参加する機会をいただいたことが、弁護士になるきっかけとなった」と、「友達や先輩、後輩との関係は、これからはもっと繋がっていくものなので、在校生の皆さんにはその関係を大切にしてください」と、高校時代の体験談が語られました。

最後に林田会長が「今は男女共同参画社会。男だから女だからとか関係なく、その人がその人らしく自分の人生を選んでいく時代です。長い人生を、自分らしく前を向いて頑張ってください。たくさんの方々の力をいただきました。ありがとうございました。感謝申し上げます。」

紅梅会会則

- 第1条 名称**
本会は福中・福高同窓会女子部会「紅梅会」と称する。
- 第2条 目的**
本会は会員相互の交流と親睦を図り、女子同窓生及び在校生の活躍を支援し、母校の発展に寄与することを目的とする。
- 第3条 事業**
本会は前条の目的を達成するために次の事業を行う。
1 同部会との連絡を密にし、これに協力するための事業
2 会員の交流及び親睦を図り、その活躍を支援する事業
3 その他、本会の目的達成に必要な事業
- 第4条 会員**
本会員は福岡高等学校の卒業生および本校に在籍した女性とする。
- 第5条 役員**
1 本会に次の役員を置く。
会長1名、副会長2名、幹事長1名、副幹事長1名、会計1名、監査2名以内、幹事若干名、顧問若干名、相談役若干名、学年代表（各回1名）
2 会長、副会長及び監査は、役員会において本会員の中から選出し、学年代表は各回から1名選出する。
3 顧問、相談役、幹事長、副幹事長、会計、幹事は、本会員から会長が委嘱する。
4 役員の内任期は2年とする。但し、再任を妨げない。
- 第6条 総会**
1 総会は原則として毎年11月に会費がこれを招集し、役員会で議決された内容を報告する。
2 卒業後17年目の回をその年の当番幹事とする。
- 第7条 役員会**
1 役員会は、第5条に規定する役員により構成し、役員の選出、予算、決算、規約改正その他必要な事項を審議決定し、総会において報告する。
2 役員会は、会長がこれを招集し、その議長となる。
3 役員会は、役員の過半数の出席で成立する。ただし、委任状を提出した役員は、出席とみなす。
4 役員会の議決は、出席した役員の過半数の賛成をもって行い。
- 第8条 執行部会**
1 執行部会は、会長、副会長、幹事長、副幹事長、会計、幹事をもって構成し、会の運営、その他必要な事項を審議し、役員会に報告する。
2 執行部会は、会長がこれを招集し、その議長となる。
3 顧問、相談役は執行部会の諮問に応じる。
4 監査は、必要があるときに執行部会に出席し、意見を述べることができる。
- 第9条 会計**
本会の会計は、福中・福高同窓会からの補助金及び寄付金その他の収入をもって充てる。
- 第10条 会則の準用**
その他詳細に関しては福中・福高同窓会会則に準ずるものとする。
- 第11条 規約の改正**
本会の規約の改正は、役員会の議決を経て総会に報告するものとする。
- 第12条 実施時期**
本会則は、昭和44年11月16日から実施する。
- 以下、一部改正
平成30年8月25日
令和3年9月28日